

令和5年度 教育総合センターメッセ「キャリアアワード」

令和5年12月16日（土曜日）に第2回の教育総合センターメッセが行われました。当日は、1、2階の各フロア、屋外広場では、親子で楽しむ「歌遊び」やプログラミング、ブロック遊び、各国の遊び体験、実験コーナー、わくわく影絵シアター、ミニツリーづくり、クリスマスコンサート、各小中学校の学びの紹介、教育相談の紹介、ほっとスクール見学など多少多様な催し行われました。



その中で、今回初めての取り組み祖として「キャリアアワード表彰」が行われました。また、今年度から本格的に取り組んでいる「ハローキャリアワーク」の紹介も展示されました。

「キャリアアワード」とは、世田谷区のキャリア教育の充実・発展に尽力し、顕著な功績が認められる学校、PTA 団体、地域企業等について、その功績をたたえ、世田谷区教育委員会が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進することを目的に設立されたものです。そ

れぞれを「学校部門」「ハローキャリアワーク部門」「地域・企業・学校運営委員会等部門」と3つの部門に分け、17団体を表彰いたしました。開会に先立ちまして、渡部理恵教育長より、世田谷区教育委員会のキャリア教育の重要性や取り組みの現状など教育施策について講和があり、続いて表彰に移りました。

「学校部門」は若林小学校、中町小学校、中丸小学校、給田小学校、富士中学校、深沢中学校の6校



「ハローキャリアワーク部門」は、株式会社松院会館、学校法人村川学園東京山手調理師専門学校、株式会社 BYD、株式会社伊佐ホームズ、株式会社楽天グループ、尾山台商栄会商店街振興組合、昭和信用金庫、フコク生命の8 団体

「地域・企業・学校運営委員会等部門」は給田わんわんパトロール、深沢中学校運営委員会、東京青年会議所世田谷委員会の3 団体です。そして、今回キャリアアワード対象

に輝いた団体は「東京青年会議所世田谷委員会」様の取り組みで、これまでの継続した取り組みとともに、今年度「人に優しく、思いやりのある社会を創る」とテーマに、「子どもたちに障害者理解を通じて、他者理解や自己認識を深め、多面的・多角的な思考をはぐくみ、課題発見力・課題解決力を醸成する」ことを世田谷区立池之上小学校を対象に5日間取





り組み、障害に対する「理解」「行動の意識」「コミュニケーションを取る際の思いやりの重要性」「今後の生活における行動」などこの授業を通して「障害への探求心」に灯がともったとのことでした。

「共に楽しく学び合える」ことをどのような姿で示してくれるかが殿も楽しみであると締めくくって

ました。さらに、各団体には、受賞後にそれぞれの取り組みを報告していただきました。中には、背板会の会長を務める生徒からの報告もありました。

展示コーナーの「ハローキャリアワーク」のブースには、興味を示してくださった来場者から、「こん



なことを今の小・中学生は体験しているのですね」

との声もいただきました。

下の写真2枚は、「ハローキャリアワーク」の展示の様子です。

左の写真は、受賞者の集合写真です

